



学校だより

令和4年度
三方小学校だより第3号
5.25 (発行者千田)

体育大会テーマ

一学期最大の行事、三方小体育大会がせまってきました。ところで、「運動会」と「体育大会」の違いをご存じですか。運動会は競技や踊り応援など、全てにおいて先生が中心になって子どもたちを指導するのに対し、体育大会は子どもが中心となって、できるだけ子どもたち自身の手でつくりあげるのだそうです。右記の体育大会テーマは、6年生が意見を出し合って考えてくれました。大会テーマ「新たな幕開け」通り、三方小と明倫小が統合して行う最初の体育大会となります。それぞれの学校のよさを生かして、すばらしい体育大会をつくりあげてくれることを願っています。右の写真は6年生がリーダーとなり創り上げるパフォーマンス練習の様子です。下級生が思うように動いてくれない色もあり、悪戦苦闘しています。きっと6年生は、人の上に立つ難しさを学んでいることと思います。先生方は指導ではなく支援にまわり、子どもたちの様子を見守っています。「苦しいとき、それは伸びているとき」、失敗や苦しみを通して子どもたちは多くのことを学んでいることと思います。体育大会は競技なので勝ち負けはありますが、互いに競い合う中で互いに磨きあっているのだと思います。体育大会を通して、本校の教育理念である「自主・自立、協働」について学び、体育大会後に少しでも成長した子どもたちの姿があることを願っています。体育大会の主役は子どもたちです。必死になって、本気になって頑張る子どもたちへの声援をよろしく願います。

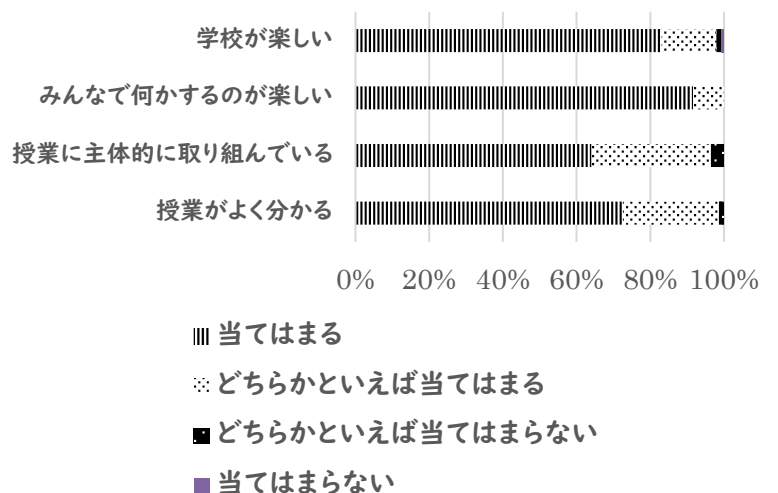
新たな幕開け
-143人の彩りで笑顔あふれる体育大会を創り出そう-



学校生活アンケートより

張りつめていた糸がゴールデンウィークでプツリと途切れ、学校に行きたくない、なんとなく体調が悪いなどの状態を総称して「五月病」と呼ばれています。ただ三方小の子たちは、5月も元気に学校生活を送っています。特に「みんなで何かをするのが楽しい」の項目は100%の肯定的回答でした。朝の登校の時は、暗い表情の子、挨拶の声が小さい子も、休み時間になると明るく元気に友だちと触れ合っています。課題としては、主体的に授業に取り組める子を増やしていくことだと思います。勉強も運動も、「やらされる」から「やる」に変わると、楽しくなるし結果もついてくると思います。学校としては、子どもの知的好奇心や探究心を引き出し、学ぶ意欲を高める授業づくりを心がけていきたいと思っています。

学校生活アンケート(5月)全校児童



6月

7日(火) 家庭地域学校協議会
14日(火) 学校公開日
16日(木) 避難訓練



児童の作品(5年生)

ゆりかご米作り

三方小5年生が中心となり、無農薬での米づくりを行っています。田んぼでは、もともと湖にいたコイやフナを卵から育て、稚魚を川へ放流しています。命を育む「ゆりかご」になってほしいとの願いを込めて、田んぼを「ゆりかご田」、収穫した米を「ゆりかご米」と命名しています。長年の生態系保全と再生活動が認められ、2019年に文部科学大臣賞を受賞しました。

5月6日(金)あぜぬり



初めに松村さんのお手本を見ました。すごくきれいに出来ていてすごいなと思いました。その後、ぼくたちがあぜぬりをしました。初めはすごく苦労したけど、後からなれてきました。奥の方に水がなかったので、ちょっと水があるところから水を送りました。

ただあぜをぬるだけだと思っていたけど、想像の三倍難しかったのでびっくりしました。でも、だんだんコツをつかめてきて楽しかったです。

5月9日(月)シュロづけ



ひもをくくるところが難しかったです。その次に、茶色みtaina物をつけました。それは、魚が卵をつけてくれる物でした。水そうみtaina物の中に卵がたくさんついていました。私たちのところにも、たくさん卵がついたらうれしいです。

シュロづけするのは初めてだったので、行く前はどんなふうにするのかとっていて、行ってみるとかんたんでした。1つにどれだけ卵がつくのか分かりました。また、シュロづけするときに結ぶやり方などが分かり勉強になりました。

5月12日(木)わく回しと田植え



最初にわく回しをしました。去年わく回しをした時は、息が合わなくて曲がっていたけど、今回は息が合って曲がりませんでした。最初は水があつてあまり四角ができなかったけど、後から水がなくなったので、きれいに四角ができました。田植えは難しかったです。

わく回しも田植えも、みんなと協力してやりました。たとえば、なえを運んだり、友だちのなえが足りない時、自分のをあげたりしました。わく回しもとてもきれいにできたのでよかったです。またやってみたいと思いました。